

(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千九百七十七號

昭和十六年十二月二十二日(月)  
海軍大臣官房

## ○ 令 達

官房機密第一〇二七七號

本年十二月二十二日航空母艦祥鳳命名ノ際舊潜水母艦劍埼ノ職名ヲ有スル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ航空母艦祥鳳ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ

昭和十六年十二月二十二日

海軍大臣

## ○ 通 牒

官房機密第一〇七五七號

昭和十六年十一月二十日

海軍次官

聯合艦隊司令長官  
第四艦隊司令長官  
支那方面艦隊司令長官  
各遣支艦隊司令長官  
海南警備府司令長官

内令提  
要登載

支那及内洋ニ在ル帝國在郷軍人ノ使用等ニ關スル件申進

支那及内南洋ニ在ル帝國在郷軍人ノ使用等ニ關シテハ陸軍省トモ連絡ノ上左記ノ通定メラレタルニ付可然取計ハレ度

記

- 一 支那方面艦隊司令長官、各遣支艦隊司令長官又ハ海南警備府司令長官ハ支那ニ於ケル海軍警備擔任區域内ニ於テ、第四艦隊司令長官ハ内南洋ニ於テ防衛上必要ノ場合ニハ各其ノ区域内ニ在ル帝國在郷軍人ヲ使用スルコトヲ得但シ海軍警備擔任區域内ニ陸軍部隊アルトキハ其ノ指揮官ニ豫メ協議スルモノトス
- 二 帝國在郷軍人ヲ防衛ノ爲使用シテ生ジタル戦傷病者ハ最寄ノ艦船部隊又ハ海軍病院ニ於テ治療セシムルモノトス
- 三 帝國在郷軍人ヲ防衛ノ爲使用シタル期間ニ於テ戦死傷病者アリタルトキハ海軍軍人ニ在リテハ充員召集ヲ行フモノトシ陸軍軍人ニ在リテハ支那方面艦隊

海軍公報(部内限) 第三千九百七十七號

昭和十六年十二月二十二日

一六三五

0791

司令長官、各遣支艦隊司令長官又ハ海南警備府司令長官ハ最寄陸軍軍司令官ニ、第四艦隊司令長官ハ横須賀鎮守府司令長官ヲ經テ最寄師團長ニ夫々臨時召集ヲ申請スルモノトス又退役者及特志會員ニ在リテハ海軍軍屬トシテ各階級相當ノ恩典ニ浴セシムルコトトス

四 帝國在郷軍人ヨリ銃器、彈藥等ノ使用ヲ願出デタルトキハ支障ナキ限リ所要ノ援助ヲ爲スモノトス

經物第三一二號

昭和十六年十二月二十日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

統制契約ノ區分ニ關スル件通牒

昭和十四年四月經物第一二二號通牒中左記ノ通改正致候

記

在大阪首席造船兵監督會計官ノ擔任事項ヲ大阪海軍經理部契約擔任官ノ擔任ニ改メ其ノ擔任統制契約品中「鹽酸(工業用)」及「ポールトナット(建築用)」ヲ削除ス

(參照) 昭和十四年五月五日海軍公報(部内限)

○ 辭 令

海軍豫備學生採用試驗委員長ヲ命ス

海軍少將	中原 義正
海軍大佐	三坂 直廉
同	上阪 香苗
同	竹内 平七
同	庄司 芳吉
同	長谷 眞三郎
同	富永 昌三
同	齋藤 榮章
同	中瀬 武二
海軍中佐	鬼塚 武二
同	菊岡 徳次郎
同	大井 篤
同	青木 武
同	神川 武夫
海軍少佐	河本 廣中
同	城野 喬
海軍機關中佐	安田 收藏
海軍軍醫中佐	佐々木 佳一

(各通)

0792

海軍豫備學生採用試験委員ヲ命ス

海軍主計中佐	前川 宗太郎
海軍主計少佐	鈴田 恒雄
海軍中佐	大野 小郎
同	小倉 藤三郎
同	中尾 熊太郎
同	谷口 俊雄
同	大谷 龍藏
海軍少佐	望月 嘉一
同	碓 壯次
同	佐藤 圓四郎
同	吉峰 高見
同	田中 次郎
同	宮崎 新作
海軍機關少佐	赤尾 勝
海軍軍醫中佐	遠藤 春雄
同	秋山 爲次
同	向後 正雄
海軍軍醫少佐	松村 吉之
同	三浦 敏郎
同	畠山 敷

(各通)

同	近藤 美之
同	中内 義夫
同	阿部 雅之介
同	田中 強
同	平良 日露史
同	塚本 敷
同	荒井 勝身
海軍軍醫大尉	池田 選一
同	平野 謙次郎
同	小野田 肇
昭和三十七年度海軍豫備學生(兵科)採用試験臨時委員ヲ命ス(以上其前海軍省)	
<small>海軍艦政本部出仕兼海軍航空本部出仕海軍主計中尉</small>	伊藤 修
東京監査官附ヲ命ス(其前同)	
海軍主計少佐	横地 憲一
第二十一海軍航空廠鹿屋支廠ニ要スル經費ノ一部(俸給、給料、人夫賃、手當、旅費)支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス(其前支出官)	第二十一海軍航空廠長

○ 雜 款

海軍公報(部内限) 第三千九百七十七號

昭和十六年十二月二十二日

一六三七

0793

海軍公報(部内限) 第三千九百七十七號

昭和十六年十二月二十二日

一六三八

○郵便物發送先

自今左記ニ依リ發送相成度

吳郵便局氣付 海軍村橋部隊

(第二防衛班)

○正誤

(齊)

本月十八日通牒欄「官房機密第一三〇二號」ハ「官房機密第一二一〇二號」ノ誤

0794

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千九百七十八號

昭和十六年十二月二十三日(火)

海軍大臣官房

## ○令 達

官房機密第一一五六二號

今次戰爭中各艦船部隊ニ要スル艦營需品及燃料ハ艦營需品經理規程第十二條並ニ燃料經理規程第六條ノ規定ニ拘ラズ告知豫算外ヲ以テ供給又ハ直買スルコトヲ得既告達、告知豫算ハ打切整理トス

### 附 則

昭和十二年官房機密第二六六四號 同年官房機密第三二二三號 昭和十六年官房機密第二三二三號、同年官房機密第八〇五號ハ之ヲ廢止ス

昭和十六年十二月八日

海 軍 大 臣

官房機密第一一七〇一號

今次戰爭中各艦船部隊ニ於テ糧食冷蔵用トシテ要スル主計長主管艦營需品水ハ艦營需品經理規程別表第四號ノ規定ニ拘ハラズ直買スルコトヲ得

昭和十六年十二月十一日

海 軍 大 臣

官房機密第一二二二〇號 昭和十六年十二月十一日 官房機密第一二二二〇號ニテ本號及官房機密第一二二二〇號ノ間第四艦隊所屬ノ艦船部隊(特設艦船部隊ヲ含ム)ニシテ船體、機關又ハ兵器ノ修理工事ヲ南洋方面ノ部外工場ニ請負ハシムル必要アルトキハ艦船造修規則及兵器造修規則ノ規定ニ拘ラズ左記ニ依リ處理スルコトヲ得

昭和十六年十二月二十三日

海 軍 大 臣

### 記

- 一、船體、機關又ハ兵器ノ修理工事ヲ南洋方面ノ部外工場ニ請負ハシムル必要アルトキハ第四艦隊司令長官ハ所定豫算額ノ範圍内ニ於テ之ヲ施行セシムルコトヲ得
- 二、前號ノ修理豫算ハ毎年度初頭海軍艦政本部長及海軍航空本部長ヲシテ第四艦隊司令長官ニ通報セシム

海軍公報(部内限)第三千九百七十八號

昭和十六年十二月二十三日

一六三九

0795

三、工事ノ實施ニ當リテハ修理ヲ要スル艦船部隊ノ主計長ハ其ノ契約及代金支拂ヲ第四艦隊所屬ノ特設海軍經理部長海軍根據地隊主計長又ハ請負工場所在地ニ在ル陸上部隊ノ主計長ニ委託スルコトヲ得

四、修理ニ必要ナル材料ハ第四海軍工作部、特設航空廠及防備隊工作科準備ノ材料中ヨリ官給スルコトヲ得

五、第四艦隊司令長官ハ修理工事ヲ施行セシメタルトキハ工事施行年月日艦名、施行場所、工事名及所要費額等ヲ翌月月頭海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長ニ通報スルモノトス

官房第六六〇號

昭和六年官房第三三五六號中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月二十三日

海軍大臣

第二號艦營需品ノ項中特設海軍軍需部下ニ「特設海軍燃料廠」ヲ加フ

(参照) 昭和六年官房第三三五六號ハ艦營需品、燃料及治療品ノ繰替供給ヲ爲シタル場合ノ取扱方ノ件ナリ(會計法規集第四卷二二七頁)

○通牒

官房第六六六一號

昭和十六年十二月二十三日

海軍省副官

各廳長殿

海軍士官ノ日本赤十字社加入ニ關スル件  
申進

日本赤十字社ニ於テハ戰時、事變ニ際シ常ニ海軍戰傷病者ノ救護ニ對シ最善ノ努力ヲ拂ヒ現ニ各主要海軍病院ニ多數ノ救護看護婦ヲ派遣シ患者ノ救護ニ盡力スル所尠カラザル次第ニテ同社ノ事業ニ鑑ミ各科士官ハ此ノ際可成同社正社員ニ加入シ社業ヲ援助ノコトニ御指導相成様致度

追テ手續ハ左ノ様式ニ依リ作製申込ムモノトス但シ用紙所要ノ向ハ直接同社本部(東京市芝區芝公園五號地)、又ハ同支部若ハ海軍省醫務局宛照會相成度

記

様式(美濃白紙)

0796

入社申込書

貴社ノ主旨ニ賛同シ入社致度候條宜ク御取計有之度候也

本籍

現住所

位勳 等功 級 氏 名

昭和 年 月 日

日本赤十字社御中

追テ本文入社ノ上ハ一ヶ月年間々々時金、圓

出金可致候也

參考

正社員ハ年釀金參圓以上ヲ納ムル者トス、年釀金ハ十箇年ヲ一期トス、一期ヲ完了シタル者及一時金二十五圓以上ヲ納メタル者ハ終身社員トス  
正社員ニハ一定ノ社員章ヲ交付ス

軍務一機密第九〇九號

昭和十六年十二月二十二日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

機密保持ニ關スル件申進

今般特殊潜航艇ノ眞珠灣攻撃ニ關シ大本營海軍部ヨリ發表アリタル處該潜航艇ニ關スル事項ハ尙絕對秘匿ノ要アルヲ以テ特ニ指定セラレアル者ガ職務上之ヲ行フ場合ノ外右ニ關スル事項ハ當局發表以外絕對口外セザル様嚴ニ示達相成度

海人召第二號ノ八五七

昭和十六年十二月二十日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

特殊任用進級ノ取扱ニ關スル件申進

大正九年海人第五一號及本年海人第二號ノ第一九〇號ノ手續ハ豫備員ノ特殊任用進級ニモ之ヲ準用スル義ト了相成度

海人第一號ノ一九二

昭和十六年十二月二十二日

0797

海軍省人事局長

關係各廳長殿

二階級上級ノ官ニ任用進級ヲ適用スベキ  
場合ノ手續等ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ左記ニ依リ取扱フモノト了知相成  
度

追テ海軍武官任用令第二十三條第一號、海軍武官進  
級令第十八條第一項第一號、海軍兵進級規則第十八  
條第一號、海軍豫備員令第二十六條第一號及海軍豫  
備員令施行規則第二十一條第一號ノ規定中「首將」  
トハ「聯合艦隊司令長官、支那方面艦隊司令長官、  
鎮守府司令長官、警備府(特設警備府ヲ除ク)司令  
長官及之ニ準ズル獨立指揮官」ヲ、「全軍」トハ「當  
該司令長官又ハ指揮官ノ指揮ヲ受クベキ全軍」ヲ指  
スモノト了知相成度

記

一、大正九年海人第五一號ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テハ  
海軍大臣又ハ首將ノ布告文ヲ添附ス但シ兵及豫備  
兵ノ進級ニ在リテハ海軍兵進級規則第十八條第一  
號、同第三號又ハ海軍豫備員令施行規則第二十一  
條第一號、同第三號適用ノ場合ニ限ル

海軍條例  
則登錄

二、二階級上級ノ官ニ任用進級シタル者ノ履歴記入ハ  
辭令文ノ下ニ二階級任用又ハ進級ノ旨括弧内ニ明  
記シ且海軍大臣又ハ首將ノ布告文(兵及豫備兵ノ  
進級ニ在リテハ海軍兵進級規則第十八條第一號、  
同第三號又ハ海軍豫備員令施行規則第二十一條第  
一號、同第三號適用ノ場合ニ限ル)ヲ記入ス

經物第三二四號

昭和十六年十二月二十二日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

前金拂又ハ概算拂契約者ニ關スル件通知

昭和十三年三月經物第一〇六號第一項第四號ニ依ル首  
題ノ件左記ノ通承認致候

記

株式會社吾孀製鋼所	東京市向島區吾孀町東四丁目 六二番地
熊澤機械株式會社	東京市京橋區新富町三丁目一 番地
合資會社茂又鐵工所	東京市芝區愛宕町二丁目二 番地
厚成工業株式會社	東京市本所區錦糸町四丁目三 番地

0798



合資會社 中部電機製作所	合資會社 富士調帯ゴム製造所	合資會社 日本煉瓦製造株式會社	合名會社 野村スニツプ製作所	大和製鋼株式會社	有限會社 大華工業所	増成動力工業株式會社	合名會社 大阪橋本組	阪神工業株式會社	野口伊三郎	石黒合名會社	株式會社 酒井工務店	横田治作		
名古屋市熱田區熱田東町字内濱六八番地	東京市京橋區西八丁堀二丁目一八番地	東京市浪速區櫻川一丁目一〇三六番地	大阪府船井郡園部町字木崎小字東川端三五番地	神戶市神戶區榮町通四丁目三番地	大阪府西區江戶堀上通二丁目二五番地	大阪府東區農人橋二丁目一二番地	京都府船井郡園部町字木崎小字東川端三五番地	富山縣西礪波郡石動町今石動町二三四五番地	東京市下谷區上根岸町一七番地	京都市左京區鹿ヶ谷櫻谷町六一番地	京都市左京區鹿ヶ谷櫻谷町六一番地	京都市左京區鹿ヶ谷櫻谷町六一番地		
永岡梅右エ門	株式會社 みよし組	株式會社 淺海商會	荒木清志	小牧彌之助	株式會社 大川電氣商會	大谷守(大谷組)	築島源吉(築島組)	石井本一(石井組)	和田武吉(和田組)	滿洲大倉土木株式會社	有限青森電機工業會社	株式會社 小野組	木田保太郎(深礎工業社)	日本火藥共販株式會社
東京市日本橋區濱町三丁目一〇番地	大阪府東區味原町九九番地ノ四	大阪府北區會根崎新地一丁目五四番地	岡山市尾上町二二番地	鹿児島市永吉町一番地	久留米市梅滿町一〇七六番地	旅順市名古屋町八番地	旅順市乃木町二丁目四番地	旅順市名古屋町一九番地	旅順市乃木町二丁目一九番地	大連市山縣通一八番地(營業所)	青森市大字新町二四番地	東京市澁谷區榮町三丁目一七番地	東京市神田區須田町一丁目九番地	東京市日本橋區室町四丁目三番地

海軍公報(部内限)第三千九百七十八號 昭和十六年十二月二十三日

一六四三

0799

日本工業株式會社	東京市麴町區大手町一丁目六番地	日東物産株式會社	東京市深川區佐賀町一丁目一八番地
日建工業株式會社	東京市麴町區丸ノ内一丁目六番地	株式會社武田鐵工所	東京市蒲田區羽田本町三六五番地
田島應用化工株式會社	東京市神田區錦町二丁目四番地	大同機械製作所	名古屋市港區昭和町一三番地
酒井辰彌(新興工業所)	東京市足立區千住東町八七番地	京濱南洋材ベニヤ板問屋商業組合	東京市神田區榮町六番地
日本建材工業株式會社	大阪府西淀川區姬島町一六九〇番地	遠藤正重(動力研究社)	東京市品川區大井水神町二〇三番地
株式會社內外精機製作所	大阪府東區北濱三丁目四七番地	株式會社布川製作所	東京市大森區大森四丁目三一六番地
小泉内匠(小泉工業所)	東京市豐島區西巢鴨二丁目一〇六番地	株式會社ダット工場	東京市大森區大森四丁目一四三番地
株式會社坂口機械製作所	大阪府西淀川區御幣島町一五八番地	石産精工株式會社	大阪府北區堂島濱通一丁目三三番地
小野清三郎(小野鐵工所)	新潟市柳島町四丁目三三番地	<p>○ 辭 令</p> <p>千八百六拾圓 名古屋市技師 小西 芳久</p> <p>千六百八拾圓 田中 國隆</p> <p>千五百六拾圓 政岡 基次</p> <p>千貳百四拾八圓 栗田 春治</p> <p>千貳百圓 和久 獻二</p> <p>千貳百圓 西脇 猛二郎</p> <p>千四百圓 柴田 要</p>	
株式會社中央製糖株式會社	東京市麴町區丸ノ内三丁目二番地		
伊藤傳五郎(三和商會)	東京市京橋區銀座六丁目四番地ノ一		
静岡縣南洋材ベニヤ板問屋商業組合	清水市島崎町五番地		
關西南南洋材ベニヤ板問屋商業組合	大阪府西區幸町通三丁目二五番地		
名古屋南洋材ベニヤ板問屋商業組合	名古屋市中川區八熊町字長町一五八七番地ノ五		

<p>千五百圓 東京市技師 九里 良介          千貳百九拾六圓 水野 金平          千參百四拾四圓 塩澤 敏郎          千八百圓 東京市技師 芳 賀 博          貳千圓 同 旭 芳 雄</p>	<p>(通各)          千六百貳拾圓 東京市技師 本 間 定          千七百圓 旭川市技師 山内 和二郎          千七百圓 東京市技師 小長井喜久雄          千五百八拾圓 小出 義夫          千五百圓 吉岡 平八郎          千五百圓 松本 吉雄          千四百圓 橋本 一夫          千貳百五拾圓 福喜多 學          千貳百五拾圓 安道 洋一</p>	<p>徵用中年額各頭書ノ通ヲ給シ部内限奏任官待遇トス          (五〇〇海軍省)</p>	<p>厚生事務官 中田 重吉</p>	<p>海南警備府附ヲ命ス(六三三同)          海軍機關少佐 中 村 威</p>	<p>第三課兼第一課勤務ヲ命ス(三三三海軍省軍務局)</p>
<p>○雜款          ◎郵便物發送先          自今左記ニ依リ發送相成度          佐世保郵便局氣付 飯野部隊          (第三設營班班長)</p>	<p>○事務開始          第二、第一〇一及第一〇三海軍工作部ヲ十二月二十日          海軍省内ニ設置シ事務ヲ開始セリ          電話省内 二〇一番</p>	<p>○移轉          新潟在勤海軍武官府ハ十二月十五日新潟港務所ヨリ新          潟市東港通日本海事檢定協會新潟出張所内ニ移轉事務          フ開始セリ</p>	<p>○判決          判 決</p>		

海軍公報(部内限)第三千九百七十八號 昭和十六年十二月二十三日

一六四五

0801

海軍公報(部内限) 第三千九百七十八號 昭和十六年十二月二十三日

一六四六

0802

海軍公報(部内限)第三千九百七十八號

昭和十六年十二月二十三日

一六四七

0803

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報(部内限) 第三千九百七十八號

昭和十六年十二月二十三日

一六四八

0804

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 雜 款

○ 懲 罰

懲罰言渡書

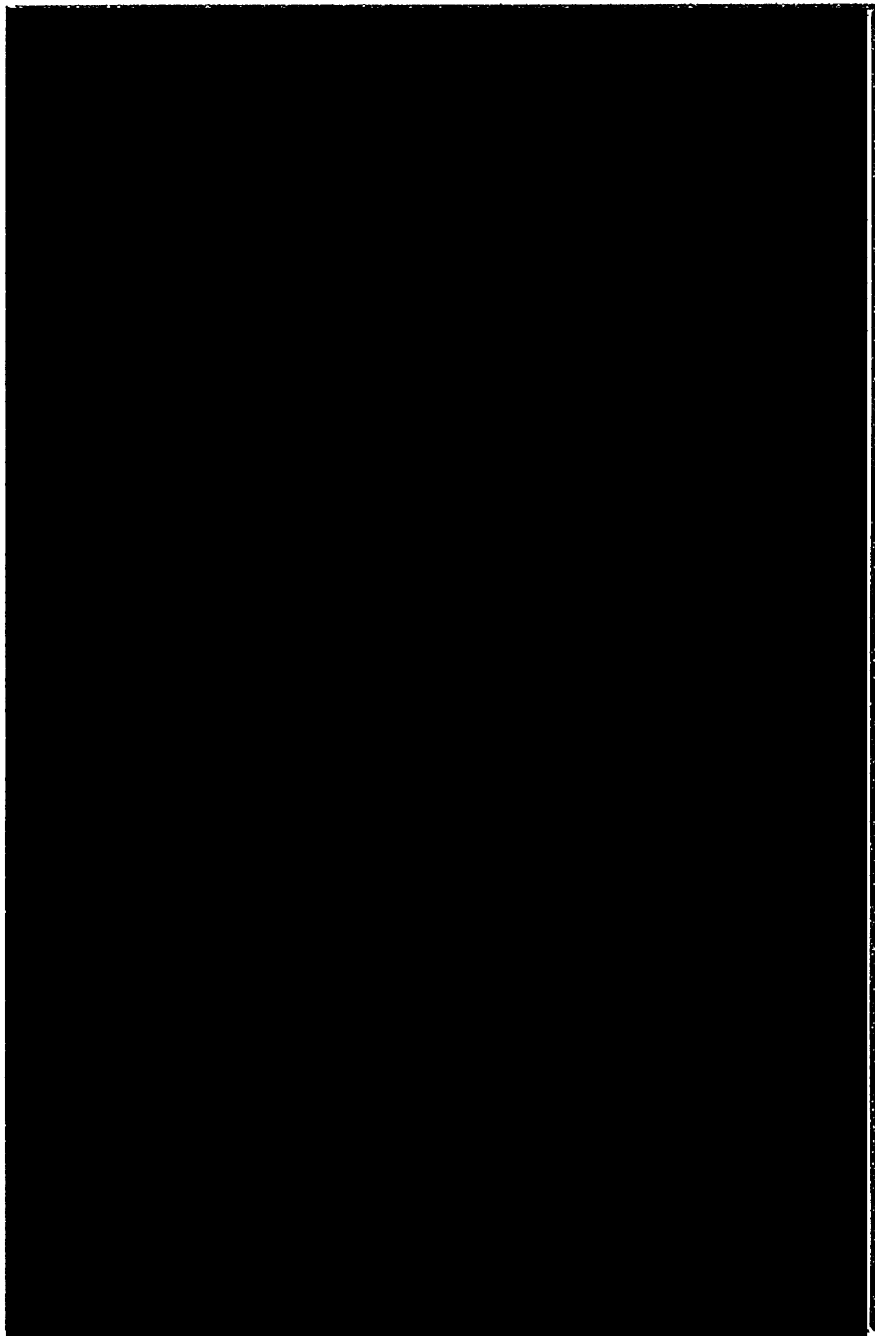
海軍公報 (部内限) 號外

昭和十六年十二月二十三日 (火)

海軍大臣官房

0805

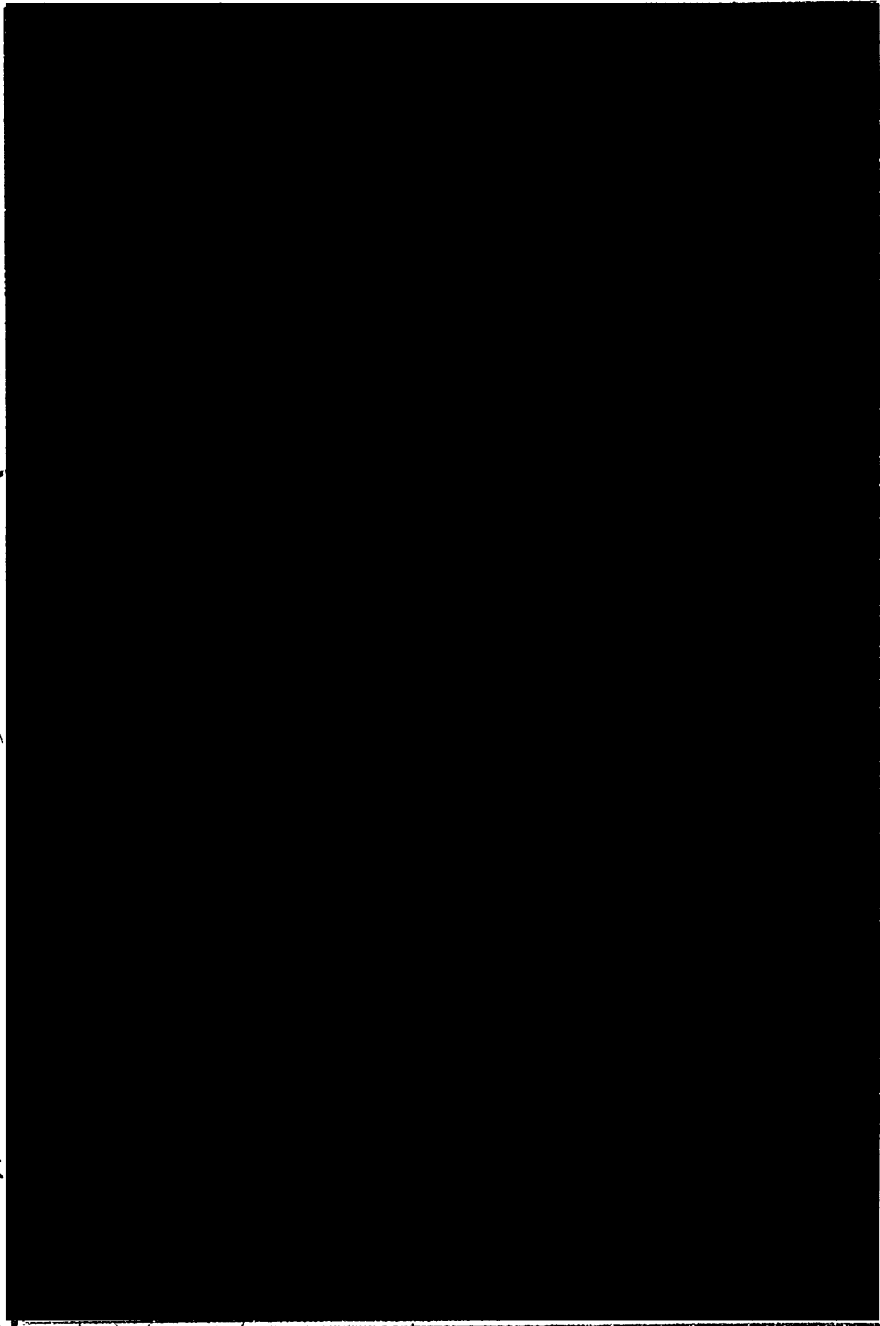
海軍公報 (部内限) 號外



0806



海軍公報 (部内限) 號外



0807

海軍公報 (部内限) 號外

四

0808

海軍公報 (部内限) 號外

五

0809

海軍公報 (部内限) 號外

六

0810

海軍公報 (部内限) 號外

七

0811

海軍公報 (部内限) 號外

八

0812

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報 (部内限) 號外

九

0813

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

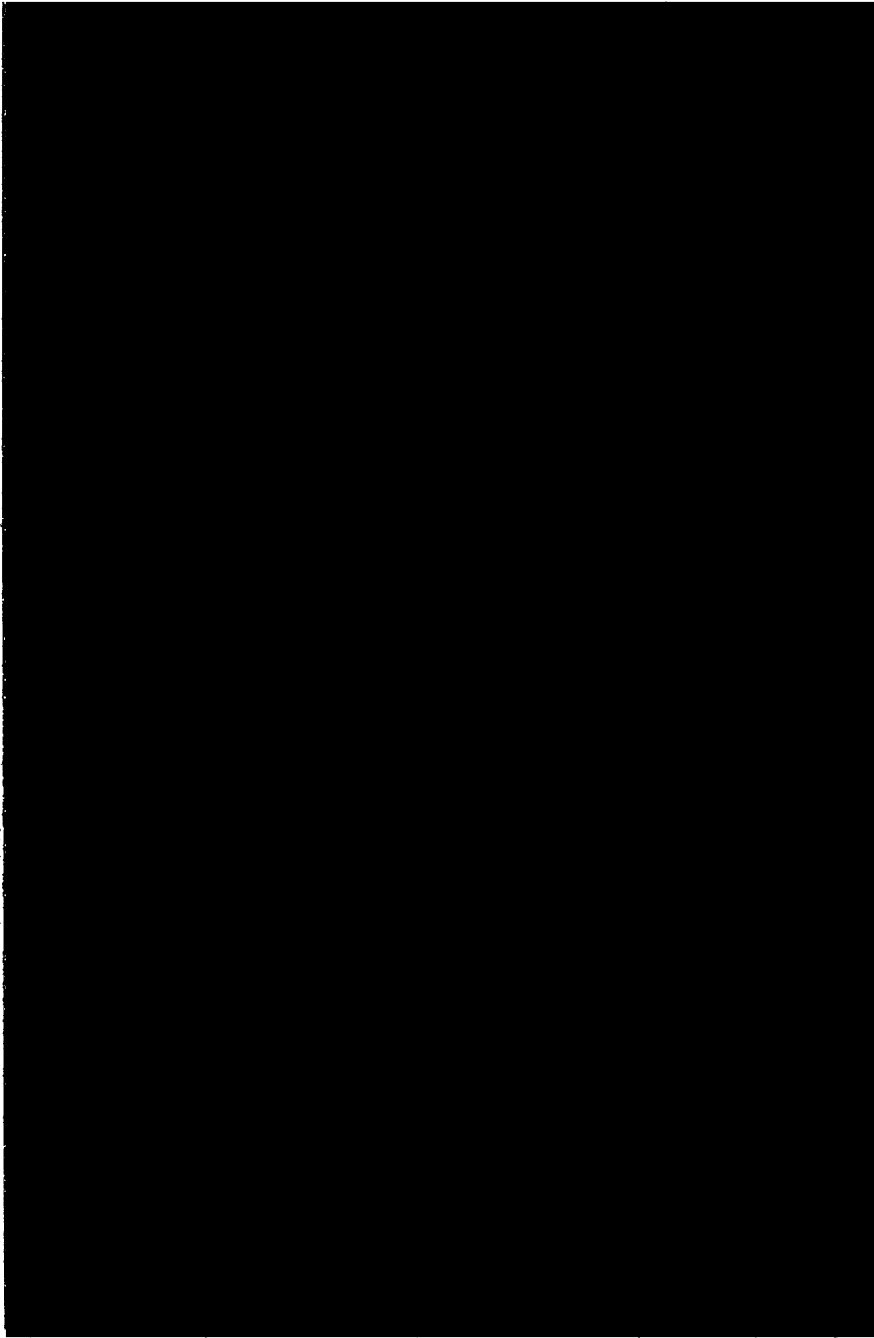
<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報  
(部内限)  
號外

0814



海軍公報 (部内限) 號外



0815

海軍公報 (部内限) 號外

三三

0816

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報 (部内限) 號外

三三

0817

海軍公報 (部内限) 號外

一四

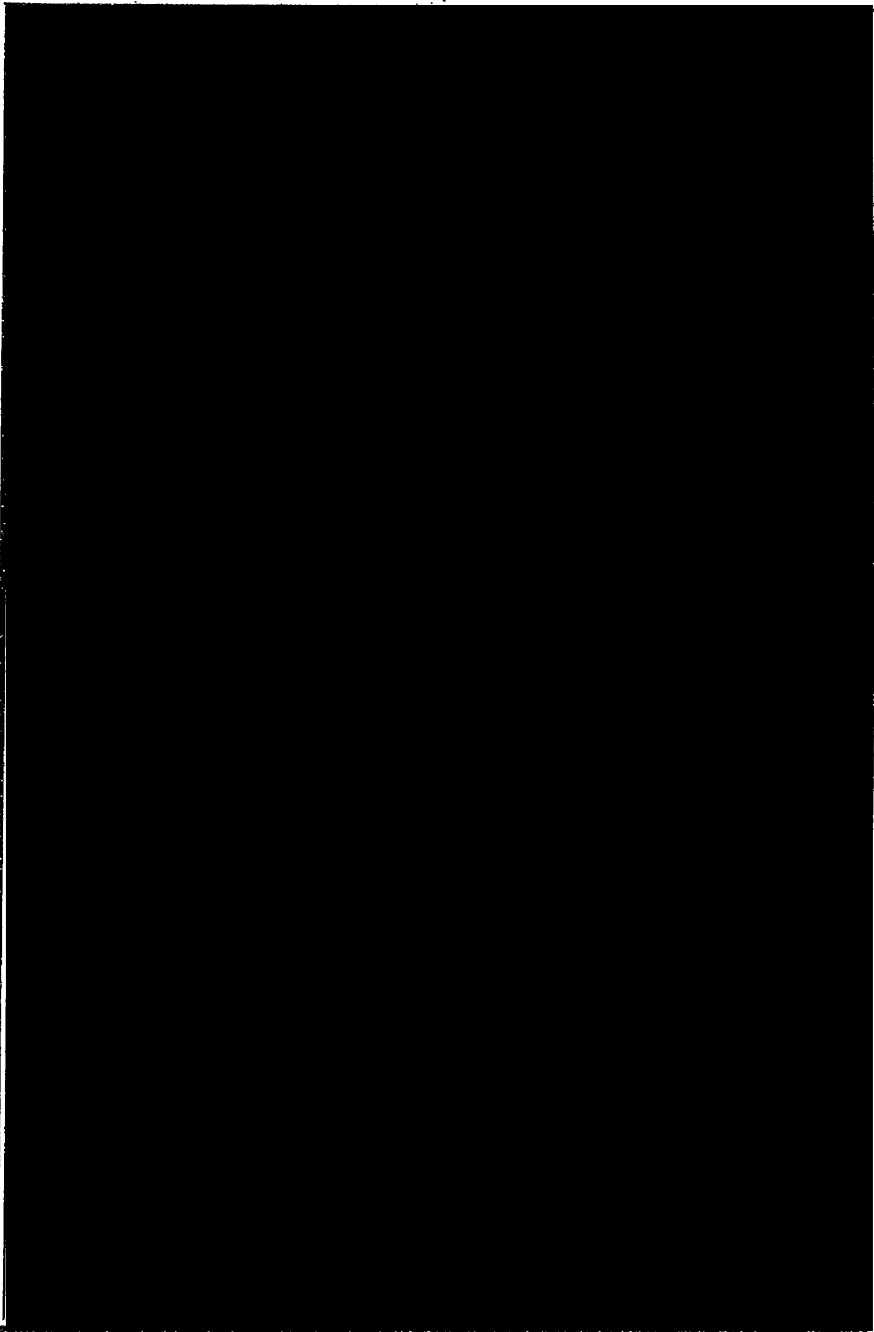
0818

海軍公報 (部内限) 號外

一五

0819

海軍公報 (部内限) 號外



一六

0820

海軍公報 (部内限) 號外

一七

0821

海軍公報 (部内限) 號外

二八

0822



(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千九百七十九號

海軍大臣官房

昭和十六年十二月二十四日(水)

## ○ 通 牒

官房機密第一二三九六號

昭和十六年十二月二十四日

海軍次官

關係各廳長殿

戰時召集猶豫者調査報告ニ關スル件通牒

官房機密第四九六〇號(本年六月九日海軍公報部内限参照)ニ依ル首題ノ件中第一國民兵役ニ在リテハ特修兵ノミニ付調査報告ノコトニ相成居候處特修兵以外ノ者ニ就テモ同號ニ依リ調査ノ上本月末日迄ニ本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告相成度

官房第六六八二號

昭和十六年十二月二十四日

海軍次官

關係所屬長官殿

年末年始ノ休暇ニ關スル件申進

海軍公報(部内限)第三千九百七十九號

昭和十六年十二月二十四日

一六四九

首題ノ件ニ關シ次官會議ニ於テ別紙ノ通申合候條本省以外ノ各廳ニ於テモ別紙ニ準ジ年末年始ノ休暇ヲ取止ムルコトニ取計相成度

(別紙)

内閣閣中第四八九號

昭和十六年十二月十八日

内閣書記官長 星野 直樹

海軍次官 澤本頼雄殿

本日ノ次官會議ニ於テ左記ノ通申合致候條此段爲念及通牒候

記

内閣及各省幹部ノ年末年始ノ休暇ヲ取止ムルコト

官房第六六八三號

昭和十六年十二月二十四日

海軍省副官

關係各廳長殿

定期航空便海軍指定座席ニ關スル件通知

昭和十六年官房第五四九六號ニ依ル大日本航空株式會社經營定期航空便指定座席ハ當分ノ間廢止セラレ候

參照 昭和十六年十月三十一日、十一月二十六日海軍公報(部内限)

兵備三機密第一六一五號

昭和十六年十二月二十四日

海軍省兵備局長

各鎮守府  
各警備府 參謀長殿  
各艦隊

海軍艦船ノ橫濱港入港前ノ連絡ニ關スル件  
通牒

首題ノ件ニ關シ左記ニ依リ連絡方橫濱稅關港務部長ヨリ照會有之候ニ付テハ橫濱港ニ入港スル場合ハ十二月一日附兵備三機密第一四六七號ノ三申進ノ要領ニ準ジ事前同部下入港上必要ナル連絡ヲ執ル様取計ハレ度

記

一、橫濱稅關港務部呼出符號 J G C

一、使用周波數(電波長) 五〇〇K.C (六〇〇M)

呼出及應答 可聽持續電波 四五四K.C (六六〇M)

通常通信電波同

一、通信執務時間

自四月二十一日 自午前四時 至午後八時  
自十一月三十一日 自午前六時 至午後八時  
至翌三月三十一日 海上二五〇K—M  
一、交信距離

〇 辭 令

軍令部部員陸軍中佐 守田 政之  
第二部第四課勤務ヲ命ス(軍令部軍令部)

軍令部出仕海軍大尉 岩井 吾郎作  
特務班班員ヲ命ス(軍令部同)

軍令部出仕海軍大尉 吉田 俊雄  
臨時戰史部勤務ヲ免シ第三部第八課勤務ヲ命ス(軍令部同)

陸軍中佐 守田 政之  
參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス(軍令部大本營海軍部)

海軍大尉 岩井 吾郎作  
特務班班員ヲ命ス(軍令部同)

海軍中佐 正木 生虎  
參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス

海軍少佐 神田 武夫  
副官部勤務ヲ命ス(以上軍令部同)

(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千九百八十號

昭和十六年十二月二十六日(金)

## 海軍大臣官房

### ○令 達

官房機密第一一號ノ九五

昭和十六年十二月二十六日

各鎮守府司令長官殿

兵器簿ノ件通達

海軍大臣

左記潜水艦兵器簿砲術長主管之部中左記ノ通改正ス

記

區分	類	別	品	名	數	量	摘	要
削除	四十口徑十四糎砲 四十口徑十二糎七高角砲 四十五口徑十二糎砲 五十口徑十糎高角砲 四十口徑八糎砲	三號蓄電池	四型					
		三號外箱	四型 三器入					
		三號電池筐	四型 三器入					
		配電筐	二型 二型共					
		電纜	格納筐					
		普通照準器用電纜						
		望遠鏡用電纜						
		目盛點灯用電纜						
定數全部 (削除)								
							一六・一〇・八官房機密第一一號ノ七五ニ依リ「潜水艦備砲照準器點燈裝置」ヲ追加セラレタル潜水艦ノミニ適用	

海軍公報 (部内限) 第三千九百八十號 昭和十六年十二月二十六日

一六五一

0825

官房第六七〇七號

昭和十二年官房第四四九六號申左ノ通改正ス

昭和十六年十二月二十六日

表中第十海軍軍用郵便所ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ  
事務開始ハ追テ之ヲ定ム

海軍大臣

名 稱	設 置 所	所 管	所 屬	職 員
第二十三海軍 軍用郵便所	聯合艦隊 ノ一艦	横須賀鎮守府	聯合艦隊	監督官 兼務 一人 所長 兼任 一人 員 兼任 二人 奏任 一人 判任 一人
第二十四海軍 軍用郵便所	第二艦隊 ノ一艦	同	第二艦隊	監督官 兼務 一人 所長 兼任 一人 員 兼任 二人 奏任 一人 判任 一人
第二十五海軍 軍用郵便所	第三艦隊 ノ一艦	佐世保鎮守府	第三艦隊	監督官 兼務 一人 所長 兼任 一人 員 兼任 二人 奏任 一人 判任 一人
第三十二海軍 軍用郵便所	第五艦隊 ノ一艦	横須賀鎮守府	第五艦隊	監督官 兼務 一人 所長 兼任 一人 員 兼任 二人 奏任 一人 判任 一人
第三十四海軍 軍用郵便所	第六艦隊 ノ一艦	同	第六艦隊	監督官 兼務 一人 所長 兼任 一人 員 兼任 二人 奏任 一人 判任 一人

0826

第三十五海軍 軍用郵便所	第一航空 艦隊ノ一艦	同	第一航空艦隊	所 員	專任	二人	判任
第三十六海軍 軍用郵便所	第十一航空 艦隊ノ一隊	佐世保鎮守府	第十一航空艦隊	監督 官 所 員	兼務 專任	一人 二人	奏任 判任

(参照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナ  
リ(昭和十六年六月一日海軍公報(部内限))

○通牒

官房第六七〇八號

昭和十六年十二月二十六日

海軍次官

海軍省各局長  
軍令部次長  
海軍艦政本部長  
海軍航空本部長  
海軍施設本部長  
殿  
年始ノ禮ニ關スル件申進

昭和十七年一月四日御用始當日海軍省構内各局部諸員  
年始回禮ニ代フル爲午前九時十分迄ニ高等官ハ第一會  
議室ニ、判任官以下ハ玄關大廣間ニ參集シ年始ノ禮ヲ  
交換シ又判任官ハ前記高等官會議室ヨリ退出ノ途大廣  
間通過ノ際挨拶ヲ爲スコトニ定メラレ候條了知相成度

軍令部  
職史機密第一七號

昭和十六年十二月二十日

軍令部臨時戰史部

關係各廳御中

戰時日誌作成ニ關スル件照會

首題ノ件左記ニ依ラレ度

海軍公報(部内限)第三千九百八十號 昭和十六年十二月二十六日

一六五三

0827

記

- 一 事變日誌ニ繼續シ作成ス
- 二 昭和十六年十二月一日以後ノモノヲ戰時日誌トス
- 三 昭和十六年九月二日軍令部戰史機密第十三號「戰史資料整理ニ關スル件照會」中ノ「事變日誌記註要領」ヲ準用ス

(註) 軍令部戰史機密第十三號ハ、兼ニ別途郵送済

海人機密第八四號

昭和十六年十二月二十三日

海軍省人事局長

各廳長 殿

戰死者、戰傷病死者、戰傷病者ノ發表ニ關スル件通牒

十二月十八日現在左記ノ範圍ニ於ケル戰死者、戰傷病死者、戰傷病者ノ遺家族ニ對スル通知ハ、進級並ニ彼位ノ手續終了セバ差支無之候  
追テ通知内容ニ關シテハ配屬部隊名ハ之ヲ公表セズ又事故發生地域ニ關シテハ作戰ニ影響ヲ及ボサザル様著名ナル方面ヲ指示スルニ止ムル等特ニ注意相成度

記

- 一 第十號及第十九號掃海艇關係
- 二 名取及那珂關係
- 三 十二月十八日迄ニ於ケル航空機關係(布哇方面ヲ除ク)
- 四 十二月十八日迄ニ於ケル特設艦船關係
- 五 十二月十八日迄ニ於ケル陸戰隊關係

航本機密第一三二四五號

昭和十六年十二月二十三日

海軍航空本部長

第十一、第二十二海軍航空廠長 殿  
海軍航空技術廠長 殿

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

航本機密第二九一七號通牒首題ノ件作戰部隊ニ對シテハ當分ノ間右通牒金額ニ不拘ラズ部隊ノ請求ニ應ジ供給スベシ  
超過供給ニ要スル所要經費ハ臨時軍事費、臨時軍事費造船造兵及修理費、造兵費(空補) 既配付豫算内支辨トス

(參照) 昭和十六年四月二日海軍公報(部内限)

○ 辭 令

0828

海軍總政本部造船部監督會計官兼海軍航空本部造兵監督會計官海軍主計大佐  
 東京監査官ヲ命ス(三十初海軍省)  
 倉永辰熊

○雜款

○略稱制定

隊名	艦艇名	略稱
第七砲艦隊	昭徳丸	第七一號砲艦
	弘玉丸	第七二號砲艦
第十五掃海隊	第二文丸	第一五一號掃海艇
	第三關丸	第一五二號掃海艇
第五十九驅潛隊	昭福丸	第五九一號捕獲網艇
	第五昭南丸	第五九二號驅潛艇
	第十六昭南丸	第五九三號驅潛艇
	珠江丸	第六〇一號捕獲網艇
第六十驅潛隊	第八京丸	第六〇二號驅潛艇
	第一〇京丸	第六〇三號驅潛艇

(第五根據地隊司令部)

○郵便物發送先  
 自今左記ニ依リ發送相成度

佐世保郵便局氣付 矢部部隊

(第一二設營班)

十二月三十一日以降到達見込ノモノハ

神戸市兵庫區湊町一ノ四九七

常盤花壇内

第百一海軍燃料廠事務所

十七年一月六日以降到達見込ノモノハ

横須賀郵便局氣付 第百一海軍燃料廠

追テ當廠補給部宛ノモノハ從來通海軍省第一分室内

(第百一海軍燃料廠)

鹿兒島縣大島郡古仁屋局氣付

海軍川越忠光部隊

(砲艦河北丸)

○事務所設置

伊號第三十一潜水艦艇裝具事務所ヲ十二月十五日横須賀海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務開始

砲艦江祥丸十二月十三日字品ニ於テ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去

第二十六號驅潛艇艇裝具事務所ヲ十二月二十日撤去セリ

海軍公報(部内限) 第三千九百八十號 昭和十六年十二月二十六日

一六五五

澎湖艦裝具事務所ヲ十二月二十日撤去セリ

海軍公報(部内限)第三千九百八十號

昭和十六年十二月二十六日

一六五六

0830



(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千九百八十一號

昭和十六年十二月二十七日(土)

## 海軍大臣官房

### ○令 達

官房機密第一二四六一號

本年十二月二十六日現在廣東方面特別根據地隊職員ニシテ特ニ辭令ヲ發セラレザル者ハ別ニ辭令ヲ用ヒズシテ香港方面特別根據地隊ノ相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ

昭和十六年十二月二十六日

海 軍 大 臣

### ○通 牒

兵備第三五四號

昭和十六年十二月二十七日

海 軍 省 兵 備 局 長

關係各廳長殿

機械鐵鋼製品工業整備要綱ニ依ル協力工業ノ整備ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通商工省ヨリ照會有之候ニ付協力ニ關シ可然取計相成度  
協力工業整備要綱及地方協力工業協議會要綱ハ所要ノ向ニ別途送付ス

(別紙)

一六機局第五三六三號

昭和十六年十一月二十七日

商工省機械局長 佐藤 荃太郎

海軍省兵備局長殿

機械鐵鋼製品工業整備要綱ニ依ル協力工業ノ整備ニ關スル件

機械鐵鋼製品工業整備要領ノ實施ニ關シテハ多大ノ御協力相煩居候處今般別紙協力工業整備實施要綱ニ依リ協力工業(從來ノ下請工業ヲ謂フ)ノ整備、確立ヲ圖ルコトト致度候條關係發註官衙、監督官等ニ於テ右ニ依リ御協力相成様可然御取計相成度此段及依賴候也  
追而本件ニ付テハ別途各地方長官及關係統制團體宛

海軍公報(部内限) 第三千九百八十一號

昭和十六年十二月二十七日

一六五七

0831

通牒致候條右御了知相成度申添候

一六機局第五三六三號

昭和十六年十一月二十七日

商工省機械局長 佐藤 登太郎

知事 殿

機械鐵鋼製品工業整備要綱ニ依ル協力工業ノ整備ニ關スル件

標記整備要綱ニ依ル協力工業(從來ノ下請工業ヲ謂フ)ノ整備ニ關シテハ四月九日附一六機局第一四八四號、五月十七日附一六機局第二一二三號及六月十九日附一六機局第二八一五號ヲ以テ通牒致置候處今般別紙「協力工業整備實施要綱」ニ依リ之ヲ整備、確立ヲ圖ルコトト相成候ニ付テハ左記御了悉ノ上本件實施ニ付遺漏ナキヲ期セラレ度此段及通牒候也

追而本件ニ付テハ陸海軍當局ト打合濟ニ付申添候尙民間發註工場ノ指定協力工場(從來ノ指定下請工場ヲ謂フ)ノ名簿追而別途送付致スベキニ付申添候

記

一、貴管下ノ當業者ニシテ其ノ利用スベキ協力工場ノ指定手續ヲ未ダ了セザル者ニ付テハ至急所要ノ指定

手續ヲ完了セシメラレ度キコト

二、地方協力工業ノ連絡、整備ヲ圖ル爲地方協力工業協議會(別紙整備實施要綱(二)參照)ヲ設置スベキヲ以テ各幹事道府縣ニ於テハ本年十二月二十五日迄ニ地方協力工業協議會ノ委員ノ指命又ハ委囑ニ付當省ニ協議相成度キコト

經物第三一六號

國有財産整理資金ノ歳入徴收官收入區分中各海軍經理部長ノ項左ノ通改正セラレ候

昭和十六年十二月二十六日

海軍省 經理局長

大 阪 海 軍 經 理 部 長	舞 鶴 海 軍 經 理 部 長	佐 世 保 海 軍 經 理 部 長	吳 海 軍 經 理 部 長	橫 須 賀 海 軍 經 理 部 長
大阪警備府管區内ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入	舞鶴鎮守府管區内(海軍火藥廠ニ屬スルモノヲ除ク)ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入	佐世保鎮守府管區内(海軍燃料廠ニ屬スルモノヲ除ク)、旅順警備府管區内及支那ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入	吳鎮守府管區内(海軍燃料廠ニ屬スルモノヲ除ク)ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入	橫須賀鎮守府管區内(東京及海軍火藥廠、海軍燃料廠ニ屬スルモノヲ除ク)ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入

大湊警備府管区内ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入  
 鎮海警備府管区内(海軍燃料廠ニ屬スルモノヲ除ク)ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入  
 馬公警備府管区内ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入  
 馬公警備府管区内ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入

(會計法規集四卷七〇〇頁參照)

○辭令

軍令部出仕海軍大尉 古田 吉之  
 特務班長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(特務軍令部)  
 海軍大尉 古田 吉之  
 特務班長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(特務大本營海軍部)

○雜款

○郵便物發送先  
 自今當隊宛左ニ依リ發送相成度  
 隊、司令、機關長、軍醫長、主計長宛  
 厚 榮 丸  
 (第五十八驅潛隊)  
 ○下關方面用務ニ關スル件照會  
 下關方面用務ニ關シ當隊ニ依頼セラルル向多數有之候

○試驗問題發送  
 機雷術 水中測雷 特技兵(假稱) 銓衡試驗問題  
 (試驗施行期日 昭和十七年一月二十九日、三十日)  
 右左記ニ依リ發送濟未着又ハ別ニ必要ノ向ハ最寄海軍人事務部、警備府又ハ本校ニ至急通知相成度

(下關防備隊)

一 單獨試驗施行豫定ノ各部ヘハ十二月二十三日直送  
 二 聯合試驗用ノモノハ十二月二十六日各海軍人事務部長、警備府參謀長宛送付(聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ豫定變更ノ爲聯合試驗不参加ノ向ニ對スル分トシテ若干ノ餘裕ヲ含ム)  
 (海軍機雷學校)

第四十九期高等科  
 第七十五期普通科  
 第七十六期普通科  
 第七十七期普通科  
 右十二月二十四日左記ノ通發送濟未着又ハ別ニ必要ノ向ハ最寄海軍人事務部、警備府又ハ當隊ニ至急通知相成度  
 整備術練習生採用試驗問題

一、單獨試驗施行豫定ノ所轄ハ直送  
一、聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部、警備府宛送付  
（聯合試驗參加豫定ノ艦船豫定變更ノ爲聯合試驗不  
參加ノ向ニ對スル分トシテ若干ノ餘裕ヲ含ム）  
（横須賀海軍航空隊）

○航空定期運航豫定

十二月二十七日ヨリ當分ノ間

毎週二回 水曜、金曜日

戊基地發 ○九〇〇發

大村空着 一三〇〇着

大村空發 一三三〇發

戊基地着 一七三〇着

（支那方面艦隊附屬航空隊）

0834

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十六年十二月二十七日(土)  
海軍大臣官房

○ 辭 令

○昭和十六年十二月十五日

海軍中將	高橋 伊望
同	南雲 忠一
同	細萱 戊子郎
同	新見 政一
同	塚原 二四三
同	清水 光美
同	砂川 兼雄
同	井上 成美
海軍法務官	尾畑 義純
海軍主計中佐	大友 美能理
海軍特務大尉	松本 清喜
同	三股 梶吉

海軍特務中尉	佐々田 町治
同	後藤 梅吉
同	松本 常一
同	相澤 正平
同	依田 良助
同	荻原 貞朗
同	後藤 三之介
同	伊田 麻壽郎
同	西森 建木
同	假屋 三吉
同	梅木 修治
同	三浦 清
同	酒井 作三郎
同	山石 謙治
同	北森 喜兵衛
同	岸本 福治郎

敍正四位  
敍從五位  
(各通)

敍從六位

海軍公報 (部内限) 號外

0835



海軍主計特務中尉 千田 喜平 玉川 米治 山口 才次 吉田 鶴雄 八木 幸光															同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同								
海軍法務官 江口 高次郎 長岡 徳治 中島 鹿藏 飯塚 三郎															同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同					
海軍書記 飯塚 三郎 海軍技手 飯塚 三郎 同															同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同		
海軍豫備少尉 野津 稔 山崎 敏 小井 保三 市川 泰司 大島 稔 大津 達士 三谷 賢吉 藤崎 道好 橋上 洋 渡邊 勝次郎															同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同			同 同 同		
欽崎 幸一 小川 勝 松井 武義 杉内 早助 鈴木 友一 大石 益司 林 與佐衛門 竹内 浩 山川 蘭 加藤 孫平 小飼 卯次 渡邊 豊 水野 利平 北原 久一 生井 喜惣司 宮本 久 竹村 央 今泉 正義 中村 晋平 中川 朝則 小林 三郎																																																					

0837

同  
 海軍豫備少尉 熊谷三千雄  
 川崎孝一  
 坪井博  
 藤井淳平  
 木村隼雄  
 下松哲雄  
 湯村健太郎  
 松崎善次  
 山本茂  
 黒田九州男  
 篠原實  
 浅川繁  
 西尾悌次郎  
 水野猛  
 一村静男  
 眞田良  
 園田道明  
 横地昌二  
 村田秀雄  
 堤常夫  
 相原利治

同  
 吉永厚  
 佐藤利一  
 佐々木博忠  
 本多穆介  
 石井末夫  
 北村孝一  
 松岡秀次  
 嶋瀬裕之  
 池田宜道  
 宮津修一  
 大崎建男  
 小野山準二  
 鈴木捷  
 佐野敏男  
 島津治夫  
 齋藤建道  
 永嶋邑造  
 重岡重司  
 松柴榮三郎  
 原田恒次郎  
 川口方一

0838



同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
丸山博	鮫島惠	前田豪雄	穂山光男	吉岡欽一郎	田口二郎	富重一夫	阿部政之助	栗原隆雄	佐藤匡	今村勇	松本信人	水野經雄	藤瀬紫朗	平松泰信	幸地巖	田中恒彦	島津春男	角崎純義	長田清一郎	川田壽雄

(各通)

海軍豫備機關少尉	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
龜谷景雄	御守惇之助	渡邊温	古別府盛吉	中谷一男	松本積富	大木梓	田中龍成	近藤三郎	古閑九万男	藏園悟	堀口佐一	平井明	彌田徳夫	松田辰三郎	岡貞	石田真義	高山重生	谷本公平	松浦道	田邊勝典

0839

海軍豫備機關少尉

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
守	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
博	福	壽	夫	茂	廣	益	秀	信	一	男	男	男	男	男	男	男	男
博	福	壽	夫	茂	廣	益	秀	信	一	男	男	男	男	男	男	男	男

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松
之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之
助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助	助

同 同

鈴木政雄 深山久夫 海見勝 銀山忠兼 鯉淵義枝 武内榮枝 貴岡章史 入江久太郎 増田芳郎 木下國資 塚木英六 下村順 細井收 荒木信雄 佐田秀夫 伊藤不可止 田中邦久 加藤勇 大槻作治 野崎規矩 丹羽六一

同 同

今野正巳 井ノ口小二郎 大久保脩 小林省三 宮口正房 岡邊康莊 面野薫 堤保夫 坂本好古 深見涉 島田裕 村上賢 上野正好 峯武夫 山下收一 小川忠雄 和田稔 大澤三 土屋八郎 稗田武司 清水廣吉

海軍豫備機關少尉

敘正八位

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

三浦	多羅尾	高木	小石	松尾	小田	高橋	兒玉	串田	丹羽	山下	片山	山本	蒲原	大西	村田	千葉	小池	畑田	伊佐	古木
徳一	豪	馨	五郎	寅一	治	市	利夫	誠一	嘉郎	太郎	一兵衛	光義	繁男	英雄	定雄	芳	重夫	正次	善	廣進

0842